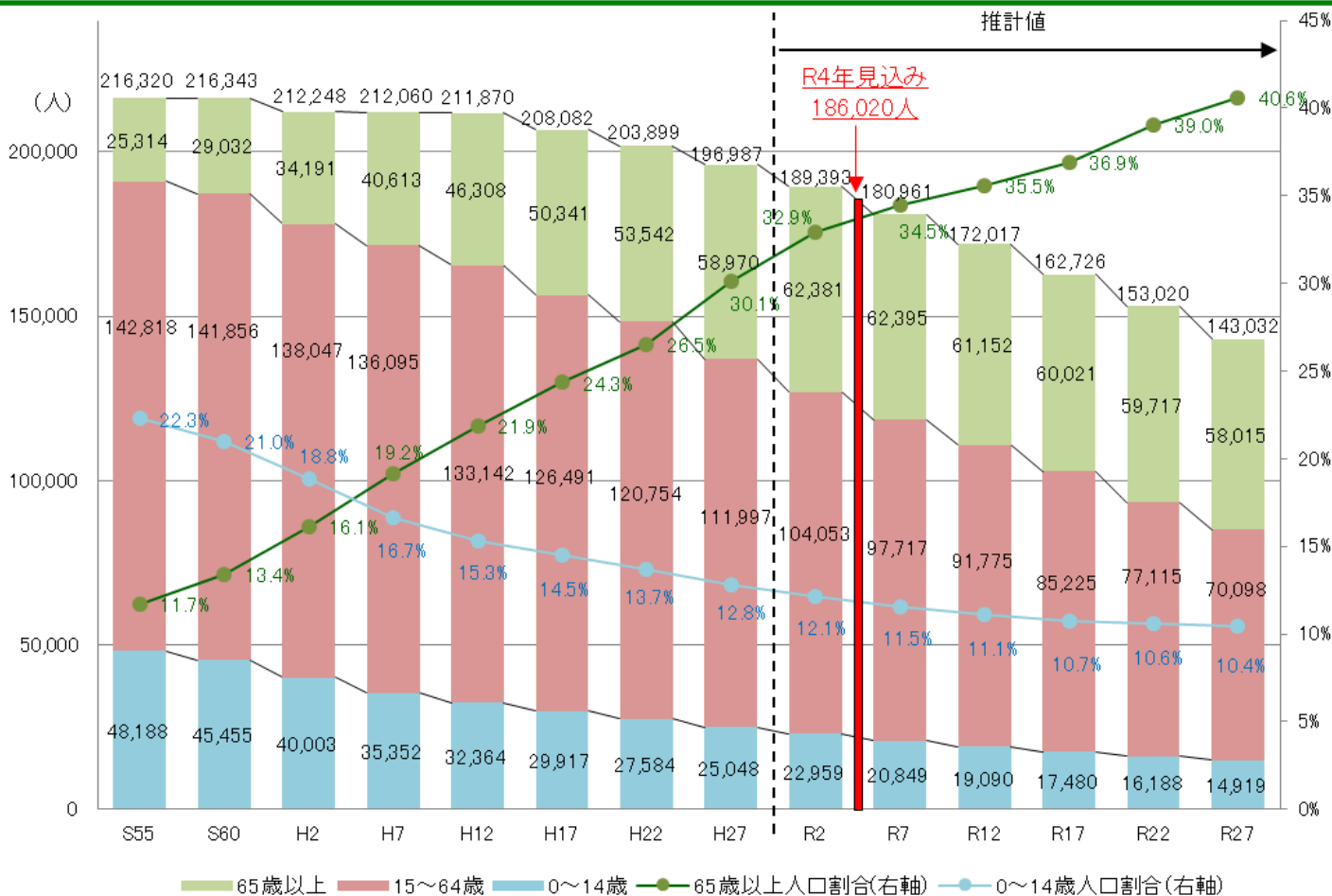


# 人口の状況等について

---

# 長期的な人口の推移と将来推計人口の比較

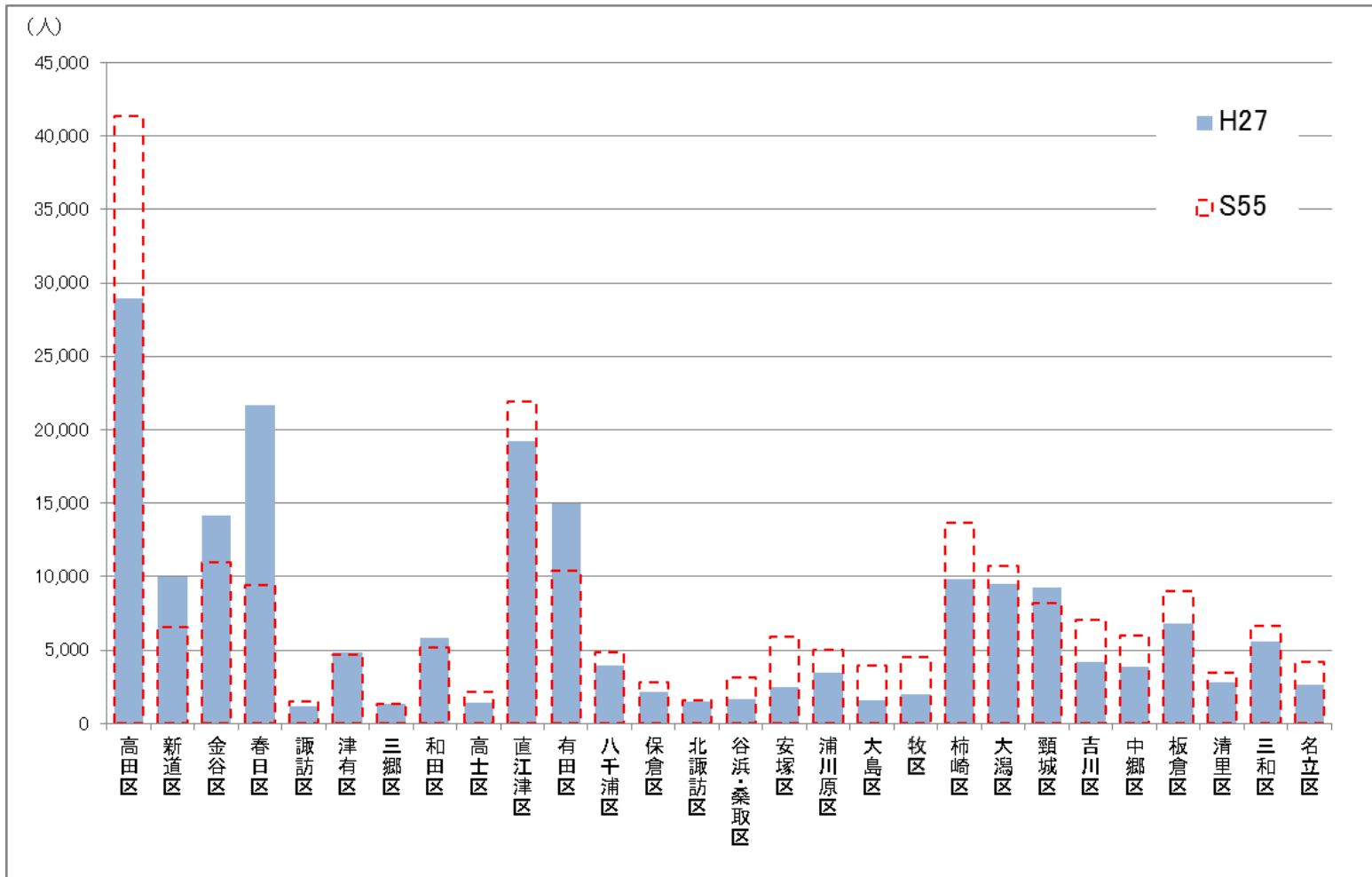
- ・ 国立社会保障・人口問題研究所の平成30年3月推計データによると、上越市の人口は令和7年には約18万千人、さらに20年後の令和27年には約14万3千人に減少すると推計されている。
- ・ 直近の国勢調査が実施された平成27年から令和27年までの30年間で、総人口の規模は約4分の3になることが想定されている。
- ・ また、年齢構成をみると、65歳以上の高齢者が人口に占める割合は、平成27年時点の30.1%から令和27年には40.6%に上昇し、15歳未満の年少者が総人口に占める割合は、平成27年時点の12.8%から令和27年には10.4%に低下するとみられている。



出典 総務省「国勢調査」及び、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30年3月推計） により作成  
 ※平成12年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの

# 地域自治区別人口の増減

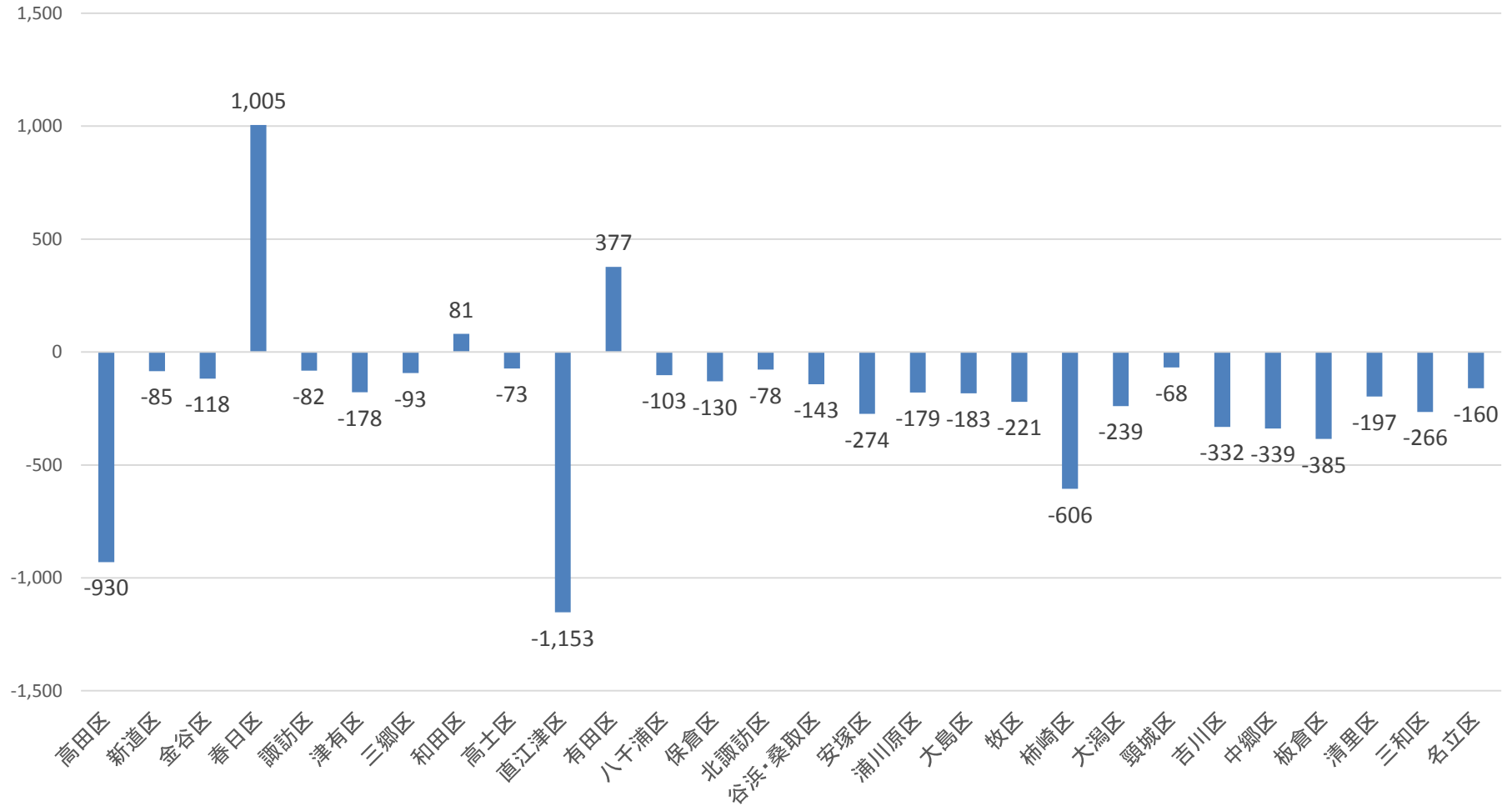
・昭和55年から平成27年までの35年間の人口増減を市内28区の地域別に見ると、7区では人口が増加しているが高田、直江津、中山間地域など21区で人口が減少している。



出典 各年国勢調査により作成  
※平成12年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの

# 地域自治区別人口の増減 ※H27.10.1時点とH30.10.1時点の比較

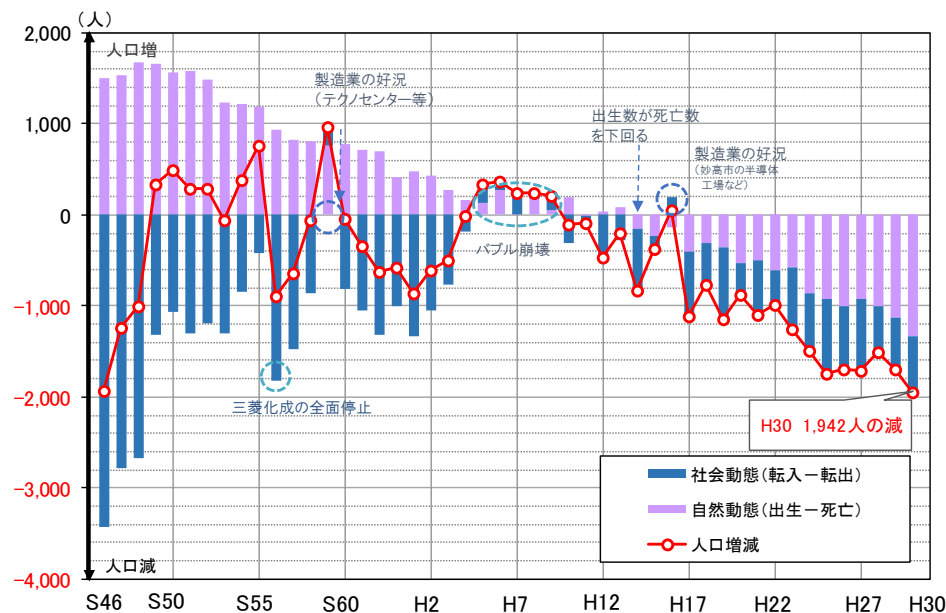
- ・ 28区のうち25区で人口は減少傾向。特に高田区で930人、直江津区で1,153人の減少となっている。
- ・ 13区ではすべての区において人口が減少している。



出典 住民基本台帳により作成

# 長期的な人口の推移

- ・平成初期までは、自然増が社会減をカバーしていたが、平成17年以降は、出生数より死亡数が上回る自然減に転じたことにより、社会減と合わせて人口減少の傾向が著しくなっている。
- ・平成30年には、年間1,942人の人口減少が生じている。



年度	各年度の人口動態							参考		
	出生	死亡	転入	転出	自然動態	社会動態	人口増減	国勢調査人口	合計特殊出生率	
国勢調査実施年	S50	3,310	1,751	6,921	7,981	1,559	△ 1,060	499	214,540	-
	S55	2,944	1,752	6,866	7,291	1,192	△ 425	767	216,319	-
	S60	2,539	1,758	6,249	7,067	781	△ 818	△ 37	216,348	-
	H2	2,150	1,716	5,881	6,929	434	△ 1,048	△ 614	212,248	1.84
	H7	1,982	1,979	6,545	6,308	3	237	240	212,060	1.72
	H12	1,987	1,953	6,222	6,718	34	△ 496	△ 462	211,870	1.64
	H17	1,743	2,154	6,287	6,994	△ 411	△ 707	△ 1,118	208,082	1.50
	H22	1,626	2,231	4,489	4,869	△ 605	△ 380	△ 985	203,899	1.58
	H27	1,521	2,449	4,154	4,934	△ 928	△ 780	△ 1,708	196,987	1.59

年度	各年度の人口動態							参考		
	出生	死亡	転入	転出	自然動態	社会動態	人口増減	推計人口	合計特殊出生率	
近年の推移	H23	1,659	2,237	4,409	5,080	△ 578	△ 671	△ 1,249	-	1.59
	H24	1,545	2,401	4,307	4,948	△ 856	△ 641	△ 1,497	-	1.60
	H25	1,601	2,525	4,194	5,013	△ 924	△ 819	△ 1,743	-	1.68
	H26	1,418	2,419	4,242	4,943	△ 1,001	△ 701	△ 1,702	-	1.57
	H27	1,521	2,449	4,154	4,934	△ 928	△ 780	△ 1,708	196,987	1.59
	H28	1,427	2,431	4,333	4,841	△ 1,004	△ 508	△ 1,512	195,475	1.56
	H29	1,347	2,469	4,225	4,801	△ 1,122	△ 576	△ 1,698	193,777	1.52
	H30	1,246	2,577	4,278	4,889	△ 1,331	△ 611	△ 1,942	191,835	-

※各年度の人口動態データの対象期間は、前年10月から当年9月までのもの(例:H28の値は、H27年10月からH28年9月まで)

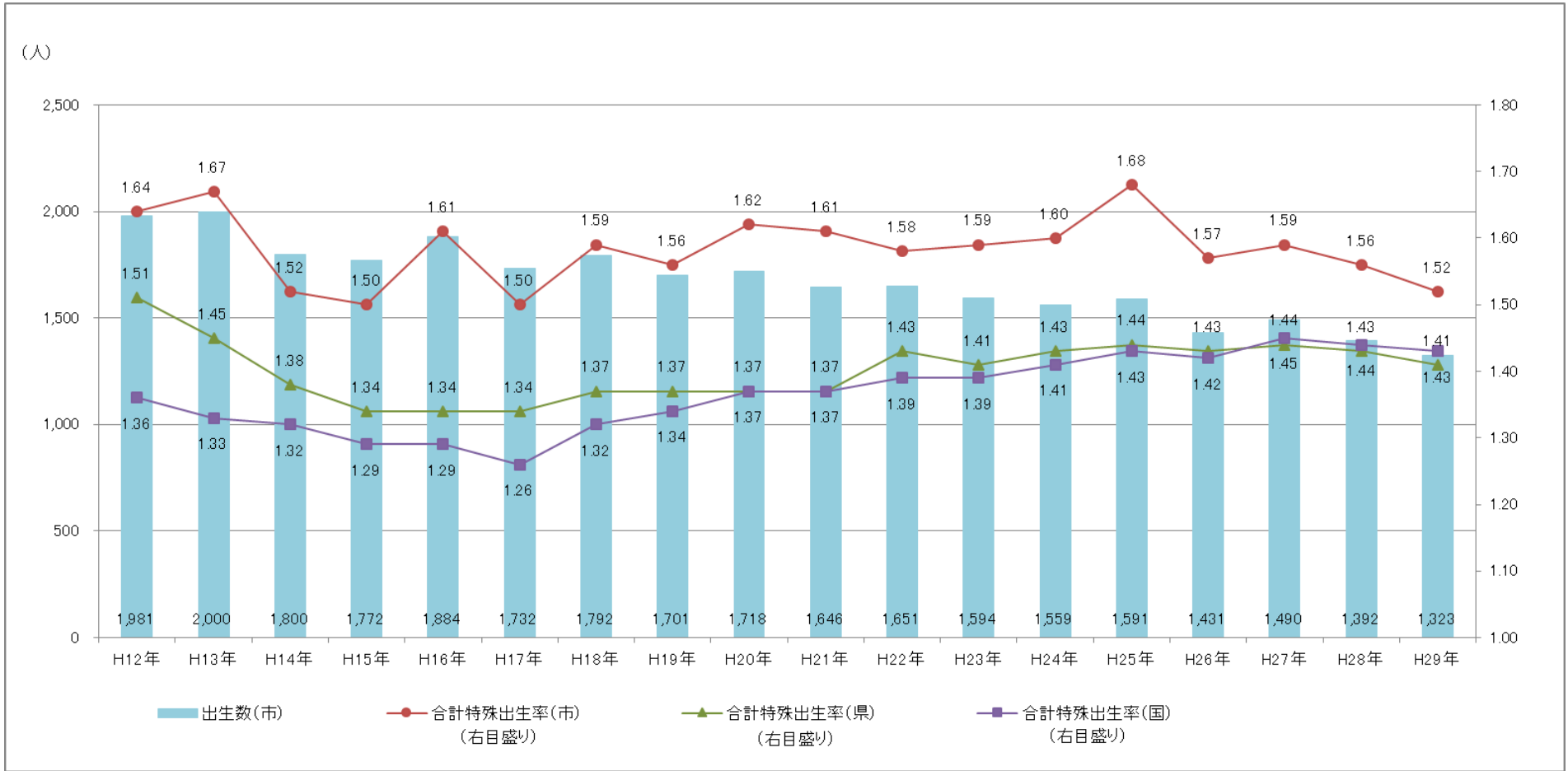
※近年の推移の推計人口は、H27国勢調査人口から人口増減を差し引いた推計値

※平成12年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの

出典 新潟県人口移動調査結果報告、各年国勢調査(総務省)、各年人口動態調査(厚生労働省)を基に作成

# 出生数と合計特殊出生率の推移

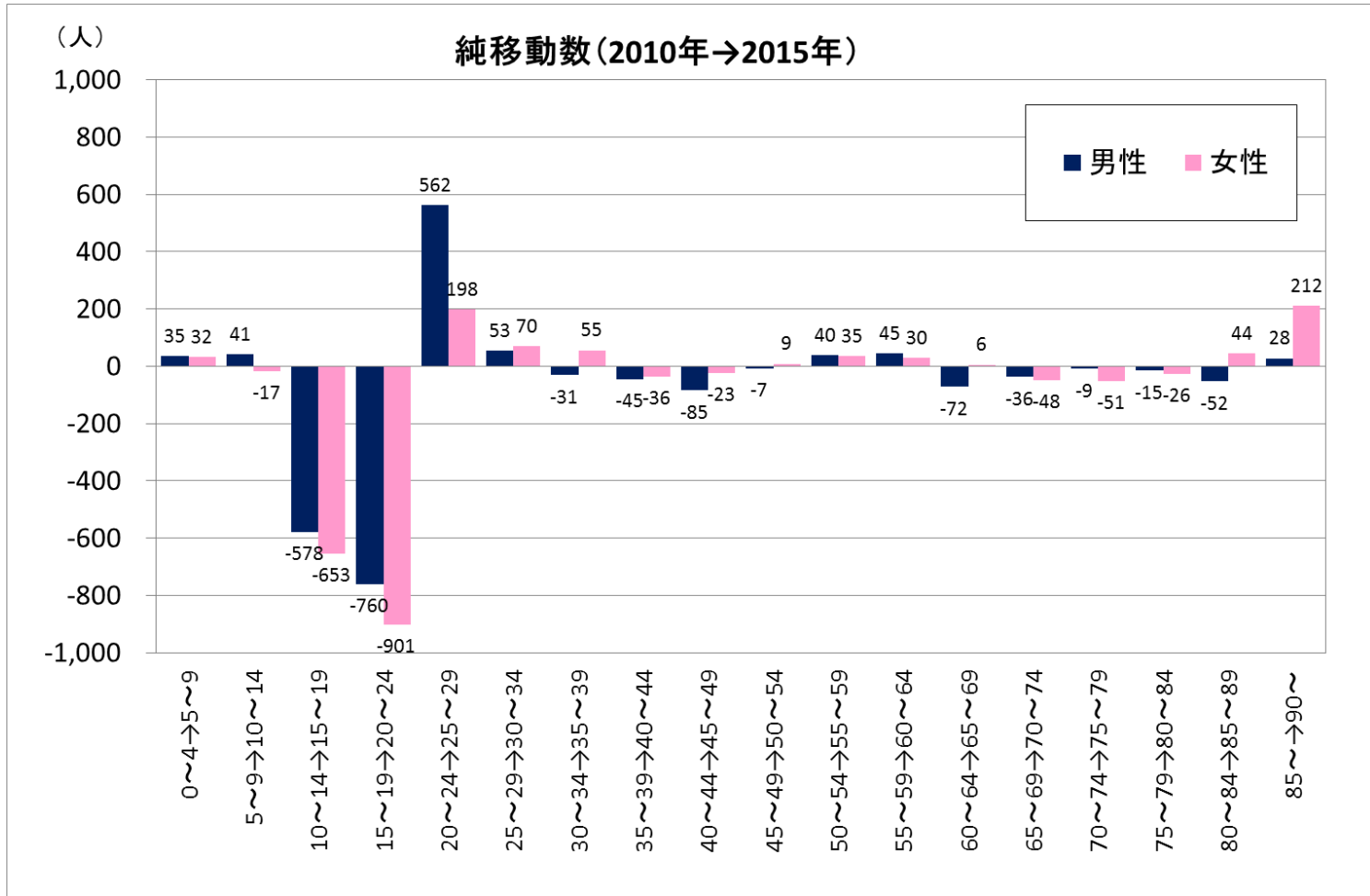
- ・ 当市における合計特殊出生率は、平成29年には1.52となっており、全国の1.41、新潟県の1.43と比較し高い数値となっている。
- ・ 近年では平成25年の1.68が最も高く、平成26年以降は低下傾向にある。
- ・ 平成29年の出生数は、1,323人で近年で最も少ない値となっている。



出典 厚生労働省「人口動態調査」  
 ※平成12年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの

# 年代別の純移動数

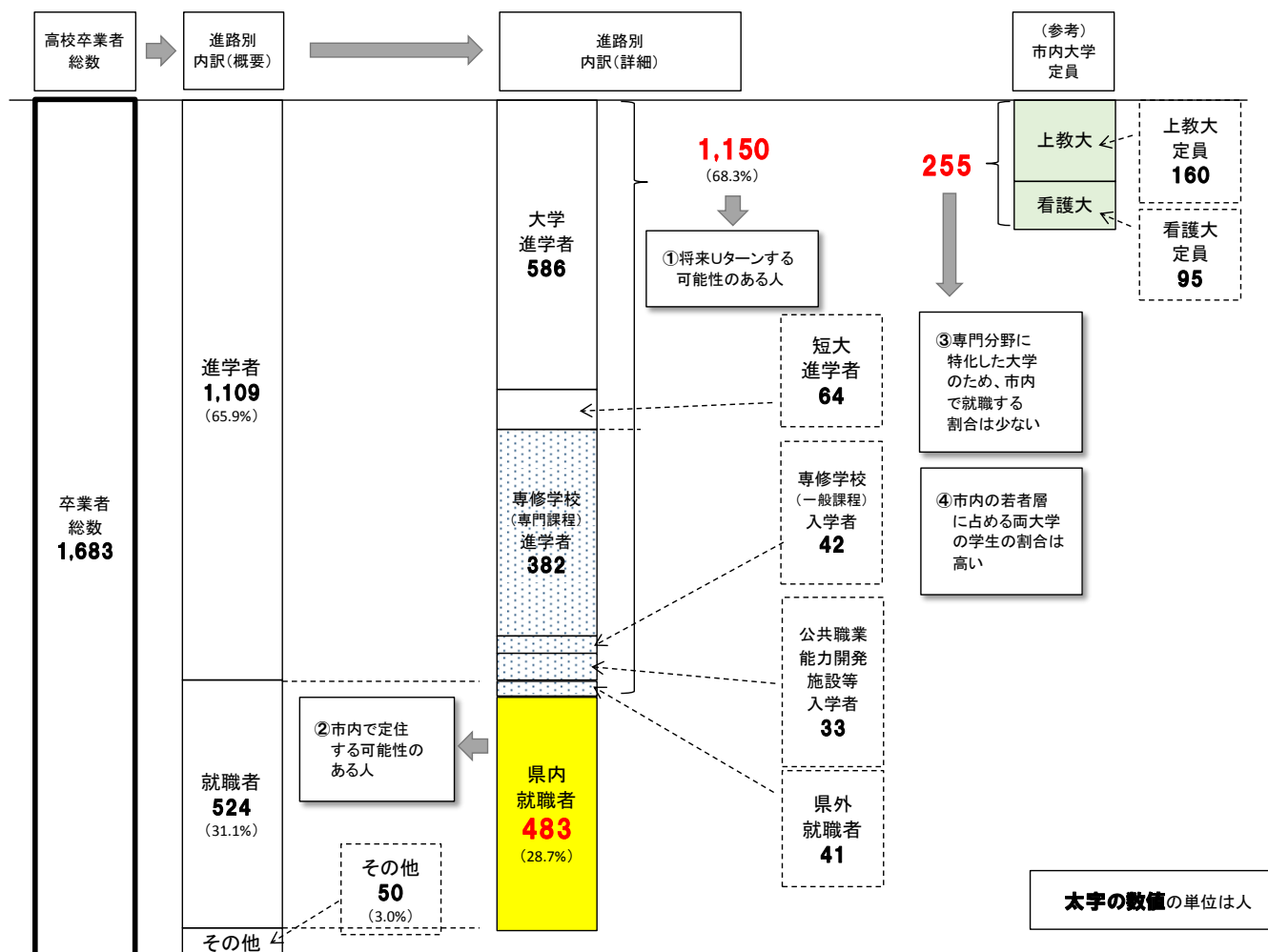
- ・ 当市の年代別の純移動数を見ると、10代後半から20代前半にかけての人口流出が著しくなっている。
- ・ 20代後半から30代前半にかけては当市へ転入の傾向が見られるが、男性の数と比較して女性の数が少なくなっている。



出典 総務省「国勢調査」

# 上越市内の高等学校における卒業者の進路の状況

- ・市内の高校卒業者の進路を見ると、65.9%が進学、31.1%が就職となっている。
- ・進学者1,109人に県外就職者41人を加えた1,150名が将来Uターンする可能性のある人だと言える。





# 上越市の将来人口推計シミュレーション

・令和47年における当市の総人口は、平成25年時点の国立社会保障・人口問題研究所の推計（緑色）と比較して、最新の平成30年の推計（青色）総人口の値は、低くなっている。

